

『働くことを軸とする安心社会～  
まもる・つなぐ・創り出す～』の実  
現を目指して！

NO. 64  
2022年 9月1日

# 連合西部 ニュース いきいき

連合島根西部地域協議会

〒697-0022

島根県浜田市浅井町64-2

TEL0855-24-2055

FAX0855-24-2056

○発行責任者 高平 淳一

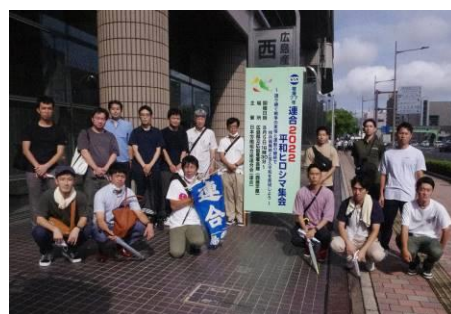
○編集責任者 土岡 勉

## 平和行動 in 広島・長崎

今年も8月6日の「広島原爆の日」、8月9日の「長崎原爆の日」に合わせて、広島では8月5日～6日に、長崎では8月8日～9日にかけて、それぞれの連合平和行動が実施されました。

西部地協から平和行動in広島に大田地区から丸山怜志さん（大田市職員連合労組 邑智地区から澁谷崇裕さん（JP労組石見支部） 江津地区から津村健太さん（江津市職労 浜田地区から藤野凌司さん（中電ユニオン三隅発電所支部） 益田・鹿足地区から宮下将典さん（津和野町職労）の5名の皆さんに参加いただきました。

平和集会では、地元連合広島代表者や主催者の連合本部芳野会長あいさつ、国際労働組合総連合（ITUC）シヤラン・バロウ書記長からのメッセージの後、中国新聞社「水川恭輔」編集委員から『核兵器使用の非人道性と核兵器禁止条約』と題して講演を受けました。また、被爆体験証言として「切明千枝子」氏から一瞬のうちに地獄と化した広島の原爆投下時の実相についてお話をいただきました。続いて、若者からのメッセージとして、高校生平和大使『ビリョク』とムリョクじゃない！』として、『核兵器の廃絶と平和な世界の実現』を訴え、1年間の取り組み内容と成果などについて資料に基づいて学習しました。その後、ヒロシマからの平和アピールを参加者全員で確認しました。



語り継ぐ戦争の実相と運動の継承で  
核兵器廃絶恒久平和の実現を！



平和集会では、被爆者の訴えとして三瀬清一朗氏から被爆体験証言として原爆投下時の長崎で起きた様々なむごたらしい惨状についてお話をいただきました。恒久平和の実現に向け核兵器廃絶への新たな一歩を歩むことを集会のメッセージとして共有しました。

2日目の午前中には現地ボランティア（平和案内人の「田川恵美子」氏にガイドをお願いし、島根独自のピースウォークを実施しました。ピースウォークでは、原爆資料館に展示されている写真や遺品などについて詳しく説明を受け、原子力爆弾の恐ろしさや非人道性の強い武器であることを強く感じるとともに、この実相は戦争の惨禍であることを心に刻み平和を希求する思いを強め核兵器廃絶の重要性を改めて認識しました。

平和行動in長崎には、西部地協青年女性委員会から畔柳拓真さん（日本製紙労組 江津支部）1名に参加いただきました。



### 久保田浜田市長との市政懇談会を開催！

西部地協は、6月10日（金）18時30分、浜田市内において、連合島根推薦首長である浜田市長の「久保田 章市」氏をお招きして、浜田市政についての懇談会を開催した。

当日は、連合島根から成相会長にも参加いただいた。コロナ禍での開催ということで、感染防止対策の観点から規模を縮小し、浜田地区会議議長・事務局長および構成単組・支部代表者を中心に参加を要請し、総勢16名の参加をいただいた。

冒頭、高平議長および成相会長からそれぞれ挨拶を受けたのち、久保田市長から、パワーポイントを活用して「最近の浜田市の取り組み／人口減少、少子化対策を中心に」と題して講演をいただいた。

講演では、浜田市の人口推移の中で1955年以降ずっと減少していることを踏まえ、人口減少下、浜田市が力を入れている主な施策として①雇用の場の確保②市役所内に販路開拓支援部隊③ふるさと納税の活用④IT企業の誘致⑤農業法人の誘致、⑥若者対策（若いカップル支援事業）⑦人材誘致⑧シングルペアレント介護人材の誘致⑨若い音楽家の誘致、⑩関係人口の活用⑪浜田応援団の組織化⑫市出身若者のデータベースづくりなどの現在浜田市で取り組みを進めている施策について具体的にお話をいただいた。

その後、交通政策を含めた社会インフラの課題や浜田沖、天然ガスの試掘への期待などの質問や意見について意見交換をした。

続いて同会場にて市長を交え参加者で懇親会を開催し、和気あいあいのムードの中で、久保田市長との今後の連携と懇親を深める機会となった。





## 知っておこう 島根県の最低賃金！

### ○最低賃金引き上げの取り組み

2022年度（令和4年度）

令和4年度の取り組み方針は、若者に島根に留まって仕事をしてもらえる魅力ある環境づくりなど様々な課題について公・労・使で議論を展開し、労働者全体の底上げ、処遇の改善を図るため、島根地方最低賃金の引き上げに向けて取り組みを展開した。

1) 島根県地域別最低賃金引き上げ結果

引き上げ額は、33円で島根県の最低賃金は857円となった。

下回ったら法律違反！

効力発効日：令和4年10月5日

### ☆社会的セーフティネット

～自立と参加を支援する重層的なセーフティネットへ～



日本では、非正規雇用で働く人が全体の4割に達し、1,000万人以上の人が年収200万円以下で働いています。一方、非正規雇用では社会保険、雇用保険が適用されていないことが多く、社会的セーフティネットが十分に機能していません。

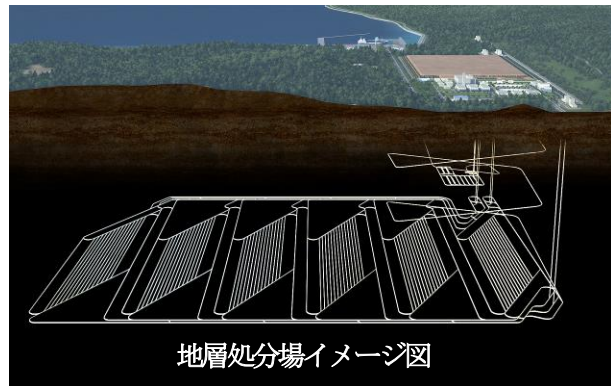
また、生活保護世帯は2016年2月の時点で約160万世帯まで増え、特に現役世帯の割合が増加。自殺者数も1998年以来、年間3万人を超えており、経済苦による自殺の頻発も、社会的セーフティネットが機能していない表れといえるでしょう。

連合は、就労や仕事を通じて自立と社会参加を実現できる社会をめざし、セーフティネットの構築に取り組んでいます。

## 2022年度エネルギー研修会を開催

西部地協は、7月30日（土）14時から浜田市「いわみーる401研修室」において、2022年度エネルギー研修会を実施した。

研修会の内容は、東京の「原子力発電環境整備機構」（NUMO）のご協力の下、「高レベル放射性廃棄物の地層処理」についての研修会を実施した。日本の電気エネルギー源として、原子力による発電が現存する中であって、核燃料の再処理時に発生する高レベル放射性廃棄物や将来的に原子力発電の廃炉時の放射性廃棄物のなどの処理方法について、避けて通れない大きな課題となっている。今回、高レベル放射性廃棄物の処理方法として、高レベル放射性廃棄物を高温で溶かしたガラス原料と溶かし合わせ、固体化（ガラス固体）について、地下300mより深い安定した岩盤に埋蔵するという「地層処分」について学習した。地層処分は、地上での保管よりリスクが少なく将来世代の負担軽減につながるなどの説明を受けたが今後、幅広く国民的コンセンサスを得る取り組みが大きな課題となっている。



地層処分場イメージ図



外出控え 密集回避 密接回避



密閉回避 換気 咳エチケット 手洗い

新型コロナウイルス  
感染防止対策！

## 〈ろうきん〉の利用が 誰かの笑顔につながる

実施期間 2022年4月1日（金）～2023年3月31日（金）まで



〈ろうきん〉をご利用いただくことで社会に貢献できるしくみ

お客さまのご負担なく〈ろうきん〉が寄付を行います

### Step 1 対象商品をご利用・ご契約 またはセミナーを開催

#### 教育目的のローン

- 教育ローン（証書貸付型／カード型）
- 予約型ローン「そなYELL」（教育目的）

#### カードローン／

#### 預かり資産のご契約／学資積立

- マイプラン ●マイプランナビ ●ハートマイプラン
- 投資信託 ●iDeCo（イデコ）
- 学資積立「ドレミ協奏曲」 ●お子さま預金



セミナー  
開催による寄付

### Step 2 お客さまに代わり 〈ろうきん〉が 寄付をする



新規ご契約・ご利用  
につき500円を  
〈ろうきん〉が寄付



新規ご契約または  
ご利用限度額の  
増額契約につき  
100円を〈ろうきん〉が寄付

セミナー開催1回につき  
1,000円を〈ろうきん〉が寄付

### Step 3 支援が必要な“誰か”の 役に立つ活動に活用

#### 社会福祉法人

「いのちの電話」  
（鳥取・島根・岡山・広島）

特定非営利活動法人  
「山口いのちの  
電話」

#### ピンクリボン運動

公益財団法人  
日本対がん協会  
「ほほえみ基金」

※ピンクリボン運動への寄付は、【学資積立「ドレミ協奏曲」】・【お子さま預金】および【預かり資産（女性）】の新規ご契約件数に応じて行います。

それぞれの活動について、くわしくは〈中国ろうきん〉HPをご確認ください

社会貢献団体

※各商品についてくわしい説明書が必要な方は店頭へお申し出ください。 ※セミナー開催に関する詳細については〈中国ろうきん〉へお問合せください。

2022年8月1日現在